

平成 26 年度 厚生労働省 予算概算要求の主要事項（抜粋）

第7 若者も高齢者も安心できる年金制度の確立

公的年金制度は国民の老後の安定した生活を支えるセーフティネットであり、持続可能で安心できる年金制度の構築に向け、基礎年金国庫負担割合2分の1を確保する。

また、正確な年金記録の管理に資する取組を進める。

2 正確な年金記録の管理と年金記録問題への取組

178億円(592億円)

(1) 正確な年金記録の管理等に資する「ねんきんネット」の利用拡大と機能充実 14億円(13億円)

年金記録の確認や未だ持ち主が明らかとなっていない記録の検索ができる「ねんきんネット」について、更なる利用者の拡大を図るための周知等を行うとともに、被保険者等の年金記録の正確性を確保するため、「ねんきんネット」において届書の作成を支援する機能の充実を図る。

(2) 年金記録の突合せ結果に基づく対応など必要な記録問題への取組 164億円(579億円)

紙台帳とコンピュータ上の年金記録との突合せ（平成 25 年度中を目途に終了）の結果をお知らせした本人からの回答に基づき、記録の訂正、再裁定等の必要な対応を行うなど、引き続き、年金記録問題への取組を進める。